賢く収縮するまち

から

賢く挑戦するまち

～ みんなで さえあって きょうりょくする まち～



岡山県 美咲町

美咲町の状況

岡山県　美咲町



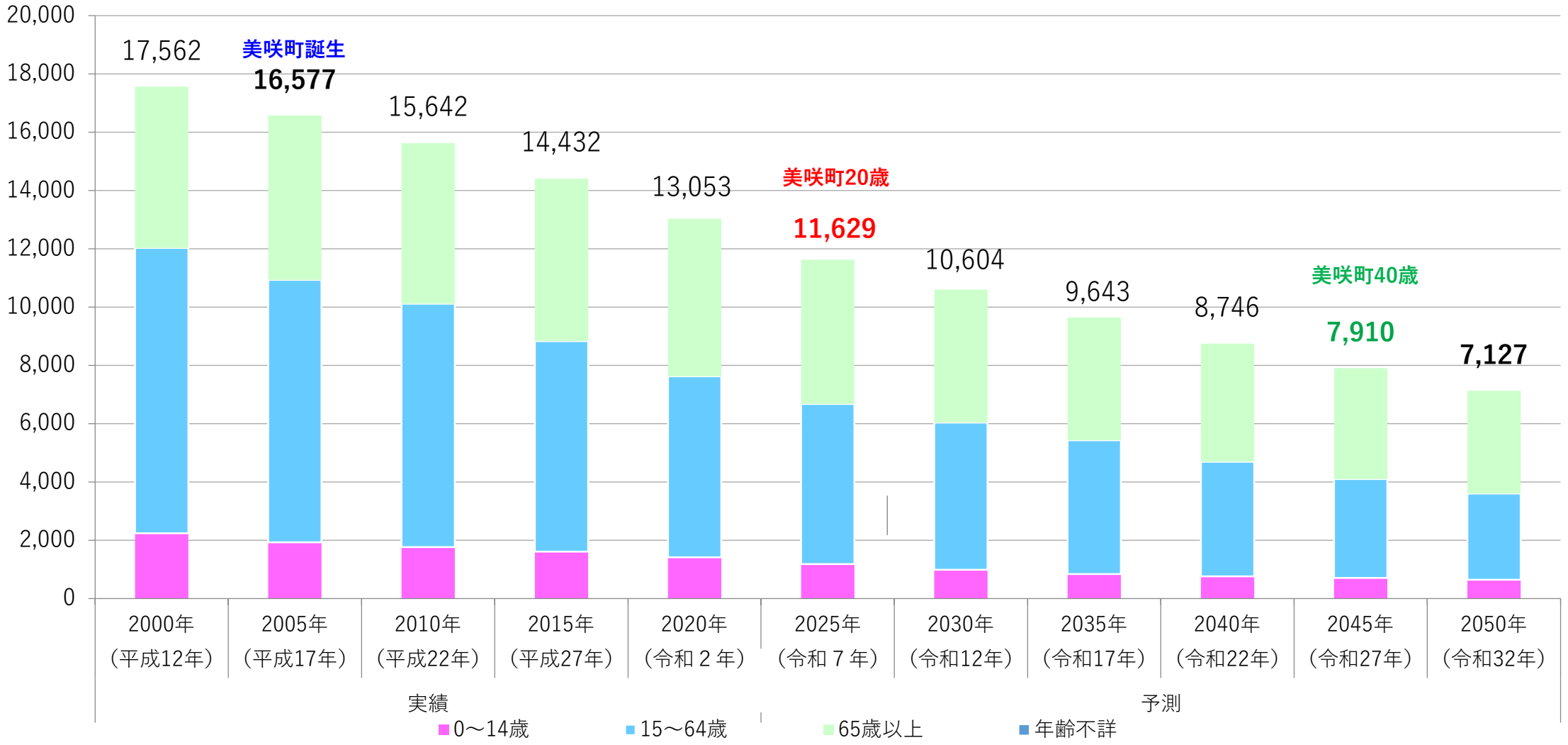


総　面　積：232.45㎢

人　　口：12,063人（2026年９月30日現在）

高齢化率：42.7%　（　　〃　　）

人口推移と推計



【2025年】	高齢率：43.5%	人口密度　50.0（人/ｋｍ²）	総面積：232.45（ｋｍ²）
【2050年】	高齢率：46.4%	人口密度　30.7（人/ｋｍ²）	

賢く収縮するまちづくり

～ これまでの10年間～

総合管理計画

○2016（H28） 公共施設等総合管理計画

公共施設（建物）の床面積：109,099㎡

1人あたり約7.19㎡ **全国平均**（3.42㎡）の**2倍以上**

30年間で、**42%**の削減が必要



<香花温泉ほほえみの湯>

○2022（R4） 公共施設等総合管理計画（改訂）

公共施設の維持・管理費用 ➡ **年間6.1億円**（過去20年間平均）

今後40年間の更新等費用 ➡ 平均**年間11.3億円**（試算）

◎年平均の**差額5.2億円（46%）**の削減が必要

福祉や教育、防災等、重要な住民サービス全体の維持に大きな支障を来す

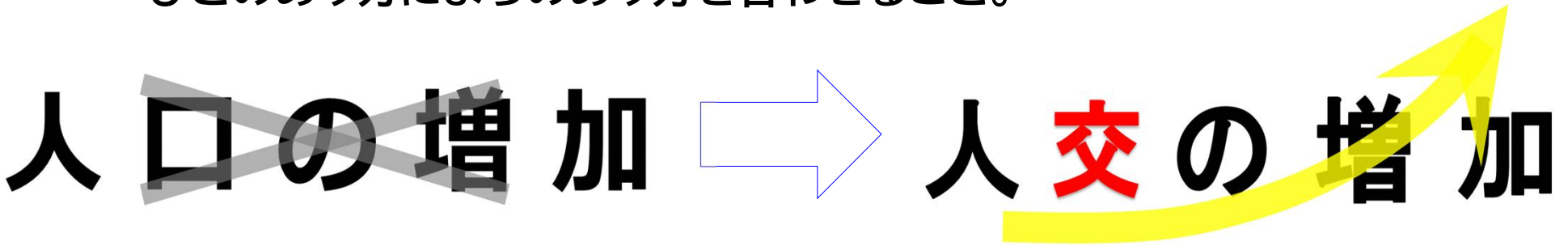
経　過

年	月	内　容
2015(H27)年	1月	柵原中学校建替(大規模改修)要望書
	3月	第一期みさき創生総合戦略(2015～2019)
2016(H28)年	3月	美咲町公共施設等総合管理計画(策定)　(2017～2046)
2017(H29)年	7月	美咲町公民連携まちづくり事業“黄福拠点整備事業”　※庁舎移転 PFI(民間資金と民間ノウハウの活用による民間主導の公共サービス) SPC(特別目的会社)の導入検討
	10月	柵原地域義務教育学校整備検討委員会設置(～10回開催)
2018(H30)年	3月	美咲町公民連携まちづくり事業　休止(廃止)　※庁舎移転断念
	6月	副町長辞職
	10月	町長辞職
	12月	青野町政(一期)スタート
2019(R元)年	4月	小規模多機能自治による地域運営組織づくりスタート
	8月	庁舎整備再検討スタート
		公共施設処分(売却・解体)スタート　※12施設12棟
	10月	施設一体型の義務教育学校「美咲町立柵原学園(仮称)」新設方針(策定) ※2小学校1中学校の統合
	11月	柵原地域義務教育学校建設用地検討委員会設置(1回開催)
		旭地域生き活き拠点整備(旭みらいモール)基本構想(策定) ※「機能集約・複合化」公表
2020(R2)年	1月	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行
	2月	旭みらいデザイン検討委員会設置(2019.8～10回開催) ※旭みらいモール整備基本計画検討
	3月	美咲町第三次振興計画・第二期みさき創生総合戦略(策定)(2020～2024) ※「賢く収縮するまちづくり」公表
		香花温泉「ほほえみの湯」廃止(2004.11～2020.3)
	4月	庁舎移転を含む多世代交流拠点整備事業の検討 スタート
		施設カルテ作成(～2022.3)　※97施設198棟(床面積300㎡以上)
		柵原地域義務教育学校開校準備委員会設置(～51回開催)
	8月	美咲町みらいデザイン検討委員会設置 (～12回開催) ※多世代交流拠点整備計画検討
	9月	旭みらいデザイン検討委員会「旭地域義務教育学校」創設提案
	12月	施設一体型の義務教育学校「美咲町立旭学園(仮称)」新設方針(策定) ※1小学校1中学校の統合
		柵原地域義務教育学校建設スタート(～2024.3)
		旭地域活き生き拠点整備(旭みらいモール)事業延期 ※施設一体型の義務教育学校新設(2023.4開校)を優先
2021(R3)年	2月	(仮称)美咲町多世代交流拠点整備基本構想(策定)
		旭地域義務教育学校開校準備委員会設置(～17回開催)
	3月	(仮称)美咲町多世代交流拠点整備基本計画(策定) ※「機能集約・複合化」公表
		美咲町役場の位置を定める条例可決(美咲町原田2144番地2へ移転)
		旭地域義務教育学校建設スタート(～2023.3)
		美咲町公共施設適正配置計画(策定)　※全体最適化デザイン
		美咲町公共施設修繕計画(策定)(2022～2030)
		美咲町経営マネジメント(行財政改革大綱)指針(策定)(2022～2025) ※「賢く収縮するまちづくり」に向けた行財政改革の取組」公表
	12月	美咲町公共施設等総合管理計画(改訂)　(2017～2046)
2022(R4)年	3月	美咲町公共施設等総合管理計画(改訂)　(2017～2046)
		美咲町公共施設等(建築系)個別施設計画(策定)(2022～2046)
		美咲町公共施設跡地処分・活用ガイドライン(策定)
		美咲町PPP/PFI導入ガイドライン(策定)
	8月	美咲町多世代交流拠点整備スタート(～2025.3)
	12月	青野町政(二期)スタート
2023(R5)年	4月	義務教育学校「旭学園」開校
	5月	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の5類移行
	10月	旭地域多世代交流拠点整備スタート(～2025.3)
2024(R6)年	4月	義務教育学校「柵原学園」開校
	5月	美咲町多世代交流拠点”みさキラリ”(生涯学習センター・産直きらり)供用開始
	10月	集約に伴う公共施設処分(売却・解体)スタート(2024.10～2026.3) ※50施設85棟
2025(R7)年	2月	飯岡コミュニティセンター整備(機能集約)スタート
		大垪和コミュニティセンター整備(機能集約)スタート
		垪和コミュニティセンター整備(改修・増築)スタート
	4月	旭地域多世代交流拠点”あさひなた”供用開始
	5月	美咲町多世代交流拠点”みさキラリ”(役場本庁舎)供用開始
2026(R8)年	3月	第四次美咲町振興計画・第三期みさき創生総合戦略(策定)(2025～2030) ※「賢く挑戦するまちづくり」公表
		美咲町経営マネジメント指針(改訂)(2026～2030)
	4月	大垪和コミュニティセンター(小規模多機能自治組織活動拠点)供用開始
		垪和コミュニティセンター(小規模多機能自治組織活動拠点)供用開始
	5月	飯岡コミュニティセンター(小規模多機能自治組織活動拠点)供用開始

賢く収縮するまちづくり（スマートシュリンク）

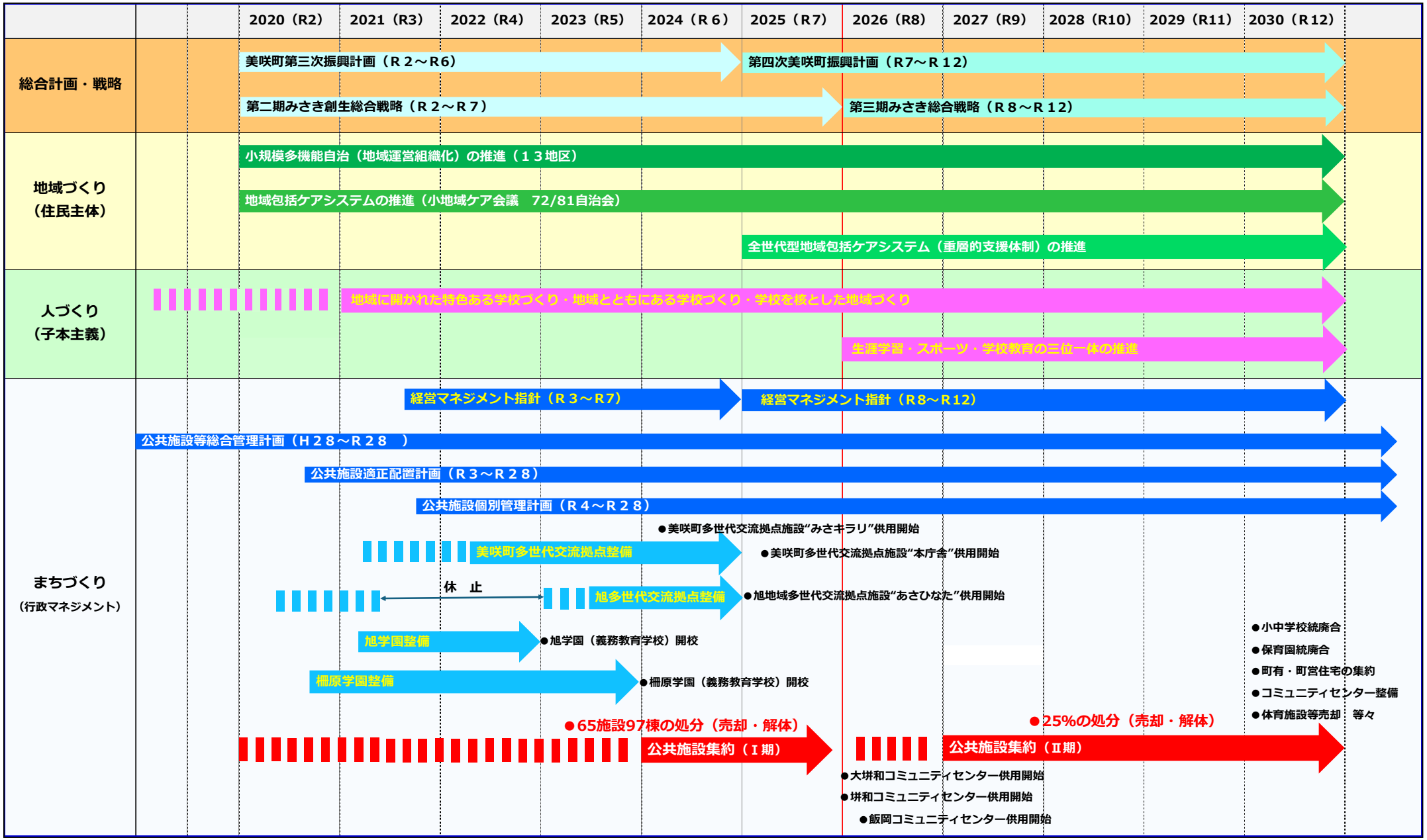
＜美咲町第三次振興計画2020(R2)年３月策定＞

人口減少と地域経済の縮小を前提に、
住民の生活の質（QOL）と幸福度（ウエルビーイング）を維持するため、
住民主体の地域づくり（住民の意識改革）の推進と合わせて
公共施設等の行政機能を戦略的に縮小・集約し、
ひとのあり方にまちのあり方を合わせること。



“賢く収縮”しながら、**“地域共生社会”**の実現を目指す

事業概要


2020（R2）
2021（R3）
2022（R4）
2023（R5）
2024（R６）
2025（R7）
2026（R8）
2027（R9）
2028（R10）
2029（R11）
2030（R12）
総合計画・戦略
美咲町第三次振興計画（Ｒ２～R6）
第四次美咲町振興計画（R7～Ｒ１２）
第二期みさき創生総合戦略（Ｒ２～Ｒ７）
第三期みさき総合戦略（Ｒ８～Ｒ１２）
地域づくり
（住民主体）
小規模多機能自治（地域運営組織化）の推進（１３地区）
地域包括ケアシステムの推進（小地域ケア会議　72/81自治会）
全世代型地域包括ケアシステム（重層的支援体制）の推進
人づくり
（子本主義）
地域に開かれた特色ある学校づくり・地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり
生涯学習・スポーツ・学校教育の三位一体の推進
まちづくり
（行政マネジメント）
経営マネジメント指針（Ｒ３～Ｒ7）
経営マネジメント指針（R8～R12）
公共施設等総合管理計画（Ｈ２８～Ｒ２８　）
公共施設適正配置計画（Ｒ３～Ｒ２８）
公共施設個別管理計画（Ｒ４～Ｒ２８）
●美咲町多世代交流拠点施設“みさキラリ”供用開始
美咲町多世代交流拠点整備
●美咲町多世代交流拠点施設“本庁舎”供用開始
休　止
旭多世代交流拠点整備
●旭地域多世代交流拠点施設“あさひなた”供用開始
旭学園整備
●旭学園（義務教育学校）開校
●小中学校統廃合
●保育園統廃合
●町有・町営住宅の集約
●コミュニティセンター整備
●体育施設等売却　等々
柵原学園整備
●柵原学園（義務教育学校）開校
●65施設97棟の処分（売却・解体）
●25%の処分（売却・解体）
公共施設集約（Ⅰ期）
公共施設集約（Ⅱ期）
●大垪和コミュニティセンター供用開始
●垪和コミュニティセンター供用開始
●飯岡コミュニティセンター供用開始

地 域 づ く り

～ 小規模多機能自治 ～

小規模多機能自治（地域運営組織）

小規模　**多機能**　**自　治**

小さな地域でも

できることをできるだけたくさん

自分たちで決め、自分たちで担う

“地域が、自律する力を身につけ、自立する”

小規模多機能自治の特徴

＜意 味＞

これから先も、地域のみんなが活躍し、安全、安心に、日々のくらしを守っていくための仕組み

小規模ながらも	＝	（小）学校区域	＝	小さな地域であっても
様々な機能をもった	＝	分野横断し、統合	＝	できることをたくさん増やし
住民自治の仕組み	＝	住民の参画・協働	＝	**自分たちで、考え、決めて、担う**

＜特 徴＞

○住民一人ひとりの力を発揮する 仕組み
○自治の原点を取り戻す 仕組み
○参加だけでなく、参画につながる 仕組み
○自治体内分権の 仕組み
○少子高齢化・人口減少に対応する 仕組み

自分事の醸成（意識改革）

回収率は最高**94%**の協議会も！

話し合い（**対話**）

地域課題の把握
（**アンケート**）

小学校4年生以上全員が標準に！

地域課題・意見の**共有**

“地域みらい計画”の策定

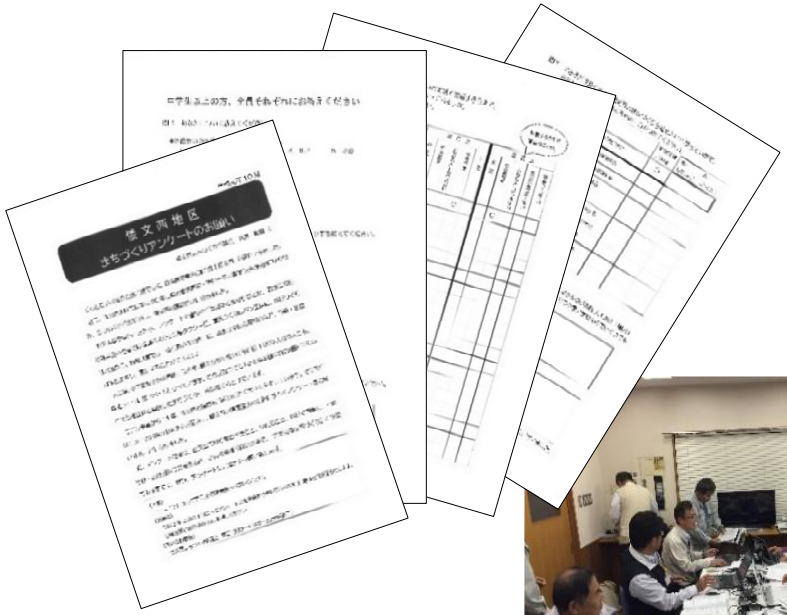
小規模多機能自治組織





みんなの意見を知ろう！の例

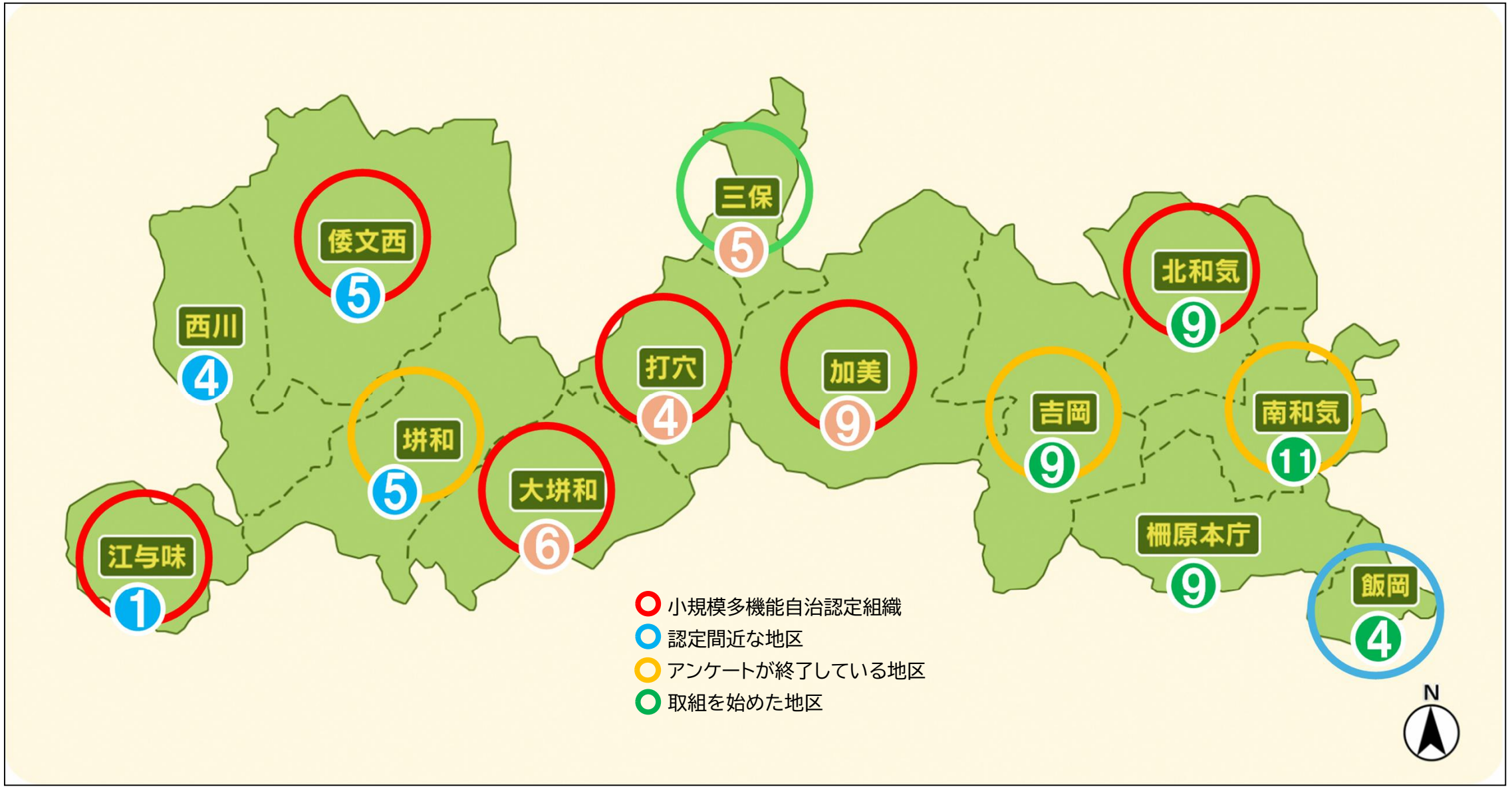
「まちづくりアンケート」





アンケートの設問づくり、配布、回収、集計、分析作業まで、**地域住民みんな**で対応

小規模多機能自治の状況



人づくり

～ 義務教育学校 ～

義務教育学校

主体的・対話的で深い学びを目指し、楽しく考え方を学ぶために、
9年間を見通した教育課程を編成する「たての接続」と、
地域活性化のために、教室の学びを地域社会に接続させる「よこの連携」を重視し、
小中一貫教育を実践するうえでは、施設一体型の義務教育学校が最適と考える。

【2019（R元）10月9日　美咲町柵原地域義務教育学校整備検討委員会　答申】

～自ら学び 共につながり　みんなの夢を育む 美咲の人づくり～

2021（R3）～2025（R5）

～だれもがウェルビーイング 郷土を愛する美咲の人づくり～

2026（R8）～2030（R12）

４－３－２年制

＜地域に開かれた特色のある学校・地域と共にある学校＞

基礎・基本の習得期				学びの活用・充実期			進路実現期	
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
学級担任制				一部教科担任制		教科担任制		
前期課程6年間 （小学校段階に相当）						後期課程3年間 （中学校段階に相当）		
◇基礎・基本的な学習内容を習得する・学習規律や生活規律、家庭学習の週間などを身につける時期				◇学習内容を関連させ深めながら、より良く課題を解決し表現する時期			◇既習内容を総合的に活用して、研究・企画・実践する時期	

自分が住む地域の歴史、文化、産業、自然、人などを通して、「地域の良さ（魅力）」や「地域の課題」を学び、それらを解決するプロセスを通じて、これからの学び方や自分自身の生き方を考える探究的な学習（郷土学習）を、全学年で系統的に展開する。

小規模多機能自治（地域運営）組織・自治会・民間企業・行政・議会など

＜学校を核とした地域づくり＞

＜入学式＞



＜英語特区＞



＜郷土学習＞



＜空き家活用＞



＜商品開発・販売＞



公共施設適正配置

～ 全体最適化デザイン～

基本的考え方

＜基本方針＞

★コンパクトシティ（集約型）ではなく、小さな拠点のネットワーク（分散・連携型）とする。

①旧3町（旭町、中央町、柵原町）に、拠点施設（行政、学校、生涯学習、スポーツ等の機能）は、ダウンサイジングしながら残す。

②13地区に、小規模多機能自治（地域運営）組織の活動拠点施設を、機能集約して整備する。

③81自治会（町内会）の集会所機能の維持向上（改修・修繕）及び解体を支援する。

①



②



③



＜基準（優先順位）＞

①安全性
（耐震化状況、施設点検評価点50未満、
ハザード指定状況）

②残寿命年数
（耐用年数に対する）

③利用性
（延べ利用人数、面積当たり平均利用人数、
実人数）

④経済性
（平均利用数当たりの平均支出額）

⑤**推計人口**
（13地区ごと）

施設番号	123	香花温泉「ほほえみの湯」			2019	年度調査



1 基本情報

①所在地(代表地番)	美咲町打穴下1766		②主管部局(課)	健康推進課	
③施設(大分類)	温泉施設		④施設(中分類)	温泉施設	
⑤総延床面積	488 (㎡)	棟数	1	棟	
⑥施設設置年度	2004		⑦運営形態	指定管理	
⑧配置形態(複合施設の有無等)	単独		⑨土砂災害警戒区域		
⑩浸水想定区域			⑪避難所指定状況		

2 建物・設備情報

①点検調査日	2019年6月28日		②総合評価点(100点満点)		39
③建築評価点(100点満点)	33	④電気設備評価点(100点満点)	80	⑤機械設備評価点(100点満点)	13

3 施設サービス情報

①年間利用者数(2017)	18,175	年間利用者数(2018)	19,454	年間利用者数(2019)	21,118		
②年間開館日数	日	363	バリアフリー	車椅子使用者用駐車場	有無	無	
③年間利用日数	日	363		出入口スロープ(車いす)	有無	有	
④平均年間利用者数	人	19,582		誘導用ブロック(通路等)	有無	有	
⑤施設稼働率(③/②)	%	100%		エレベーター	有無	無	
⑥駐車場(収容台数)	台	20		車椅子対応トイレ	有無	無	

4 財務情報

①年間収入総額(2017)(千円)	18,626	年間収入総額(2018)(千円)	20,389	年間収入総額(2019)(千円)	20,468		
②年間支出総額(2017)(千円)	18,626	年間支出総額(2018)(千円)	22,994	年間支出総額(2019)(千円)	22,372		
③年間収支(2017)(千円)	0	年間収支(2018)(千円)	2,605	年間収支(2019)(千円)	1,904		
④平均収入総額	千円	19,827	②支出額内訳(2019)	光熱水費・燃料費・通信運搬費等	千円	8,548	
⑤平均支出総額	千円	21,330		使用料及び賃貸料	千円	328	
⑥平均収支(③の平均)	千円	1,503		委託料	千円	1,342	
⑦平均利用者1人当たりのコスト(⑥/平均年間利用者)	円/人	77		保険料・手数料	千円	275	
				備品購入費	千円	0	
⑧床面積1㎡当たりのコスト(⑥/総延床面積)	円/㎡	3,083		修繕費・工事請負費	千円	3,558	
				その他	千円	8,320	

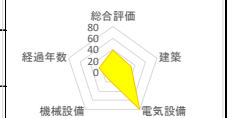
5 施設を構成する建物(棟)情報(※財産台帳より引用)

NO	建物(棟)名称	床面積㎡	建築年度	経過年数	耐用年数	老朽度(経過年/耐用年)	階数	主体構造	耐震性能
1	香花温泉_ほほえみの湯	488	2004	15	12	1.25	1	W	新耐震
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

備考
注：年間開館、年間利用日数等については、2017年度の情報である。

建築設備点検結果評価表

施設名	香花温泉ほほえみの湯	評価	
点検日	2019/6/28		
点検者	井上		
総合評価	39	2004 年	竣工
総合所見	機械室内部の白華が著しい。全般的には経過年数以上の劣化が見られます。日常の維持管理にもより一層の配慮が必要です。		



建築			電気設備			機械設備		
総合評価	33		総合評価	80		総合評価	13	
部位	評価点	劣化度	部位	評価点	劣化度	部位	評価点	劣化度
屋根	33	c	受変電	-	-	空調	-	-
外部	33	c	非常電源	-	-	換気・排煙	13	d
外構	52	b	照明	80	a	自動制御	-	-
建具	-	-	通信・情報	-	-	衛生	-	-
内部	10	d	防災	-	-	消火	-	-
その他	-	-	屋外	-	-			

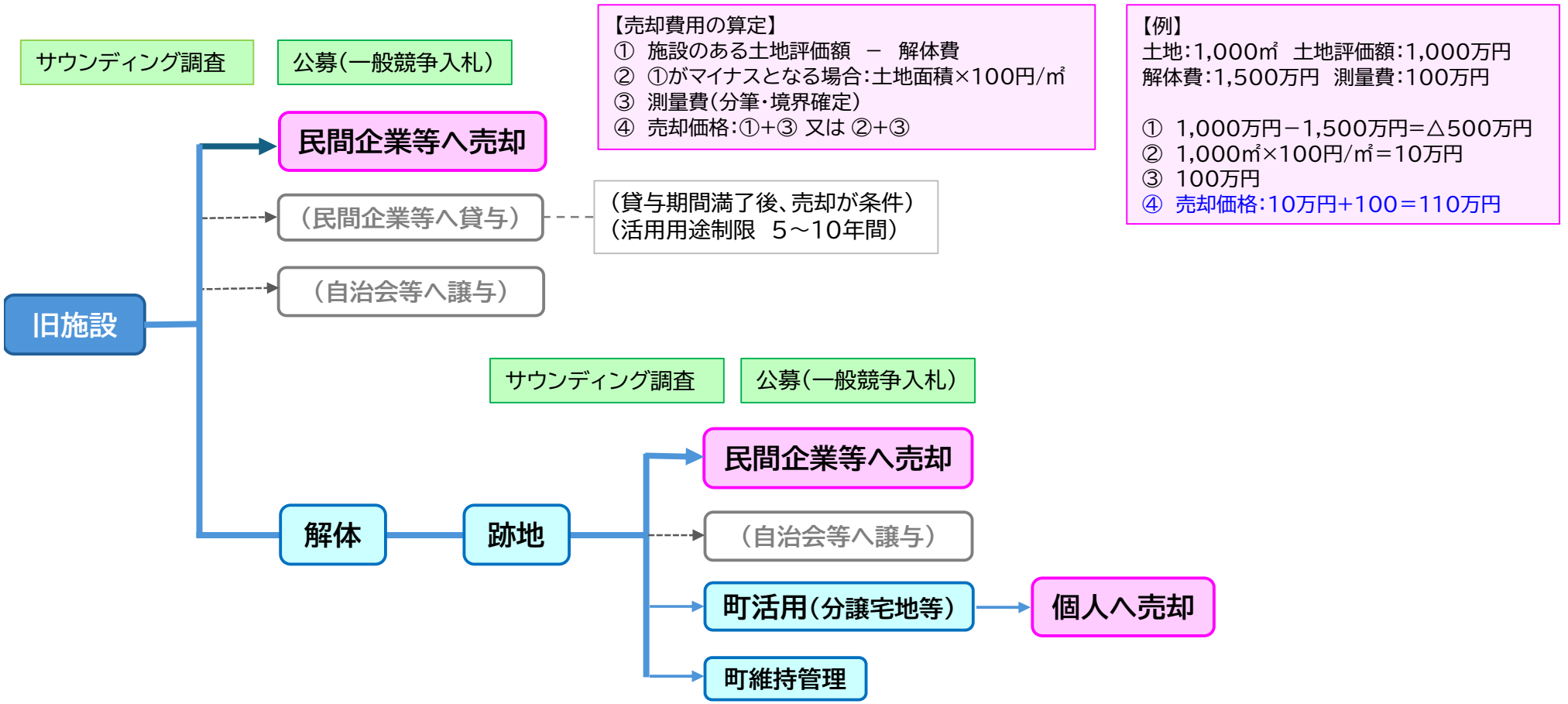
注記
・点検範囲については、目視・触診・聴診・運転等が可能な範囲とする。
・次の部位や機器については、点検範囲外とする。
例）上がることが困難な屋上、使用中で立ち入り不可能な部屋、機械排煙設備の運転等

＜処分（売却・解体）＞

①新施設整備に伴い、重複する機能を持つ旧施設は、処分する。

②町は、旧施設を運営（直営・委託・指定管理・貸付）しない。

③解体後の土地は、売却する。



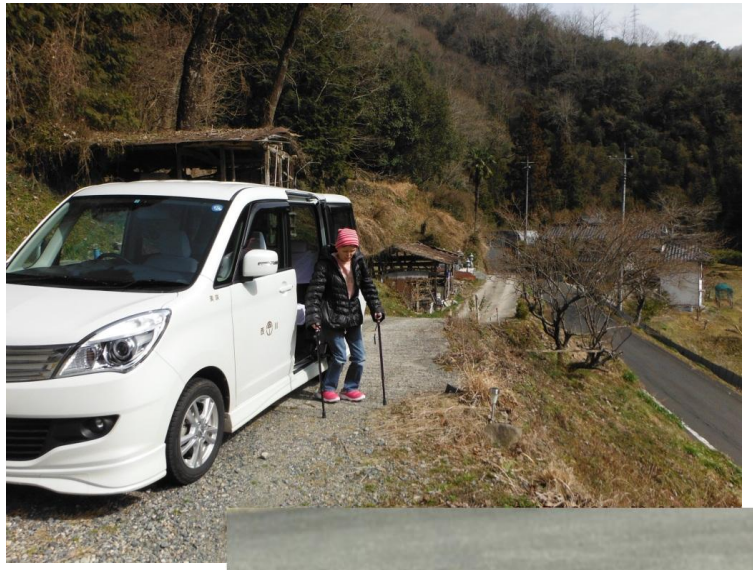
＜地域モビリティ＞

〇高齢者、障がい者、妊婦など、移動に支障がある住民には、タクシーにより移動の利便性（ドアツードア）を確保する。

※利用の使途・回数制限なし
　相乗り可
　ジャンボタクシーの利用可

- 旧町エリア内利用：片道 350円
- 町内利用：片道 1,000円
- 町外利用：片道 半額
- 障がい者の外出支援
  イベント、講座利用など：片道 100円

＜美咲町“黄福タクシー”事業＞



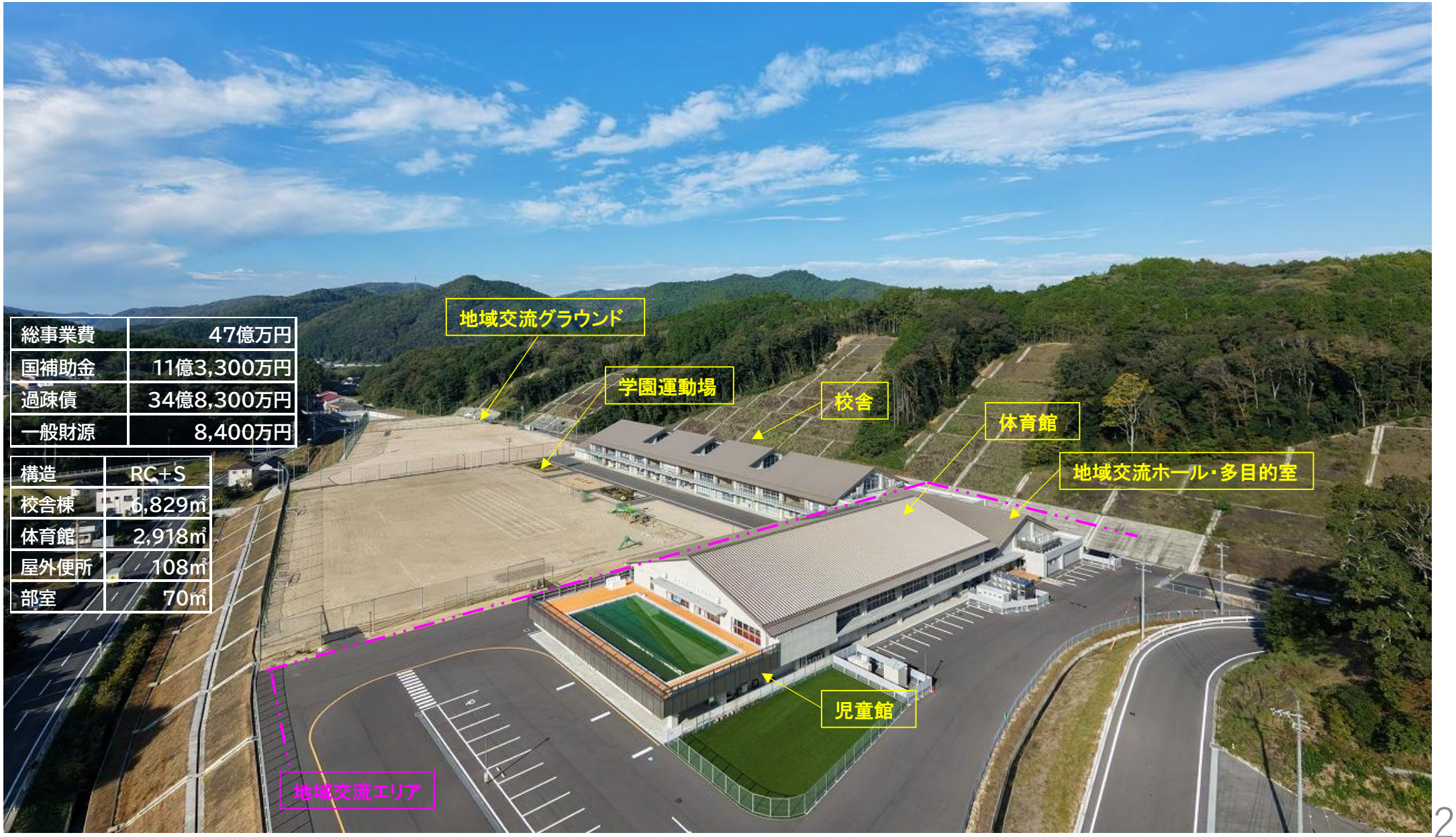


＜マイナンバーカードを活用した乗車システムを運用＞

義務教育学校“あさひ学園”（1小学校１中学校統合）



義務教育学校“柵原学園”（2小学校1中学校統合）



総事業費	47億万円
国補助金	11億3,300万円
過疎債	34億8,300万円
一般財源	8,400万円

構造	RC+S
校舎棟	6,829㎡
体育館	2,918㎡
屋外便所	108㎡
部室	70㎡

旭地域多世代交流拠点“あさひなた”（集約・複合化・大規模改修）



総事業費	8億5,000万円
国県補助金	3,400万円
合併特例債	9,200万円
過疎債	6億2,500万円
B＆G財団	5,000万円
一般財源	4,900万円

構造	RC
校舎棟	2,528㎡
体育館	1,075㎡
別棟	469㎡

美咲町多世代交流拠点“みさキラリ”（集約・複合化）

役場本庁舎・生涯学習センター（図書館・公民館・保健センター・社会福祉協議会・多目的スペース）
物産センター・防災棟（消防機庫・防災倉庫）・空き家総合相談窓口



総事業費	24億9,500万円
合併特例債	14億9,000万円
過疎債	9億1,200万円
一般財源	9,300万円

構造	S
庁舎	2,818㎡
別棟	103㎡
待合所	19㎡
生涯学習センター	2,031㎡
物産センター	448㎡

大垪和コミュニティセンター（集約化）



大垪和コミュニティセンター・消防機庫

総事業費	2億2,600万円
合併特例債	2億1,400万円
一般財源	120万円

構造	S
集会所	294㎡
消防機庫	107㎡



飯岡コミュニティセンター（集約化）



飯岡コミュニティセンター（集約化）

総事業費	5億3,900万円
合併特例債	5億1,200万円
一般財源	270万円

構造	S
集会所	737㎡
消防機庫	110㎡



処分（売却・解体）

<2019(R元)年～2022(R4)年>

〇解体:12施設12棟：　3,800㎡

< 2024(R6)年～2025(R7)年>

〇売却:10施設20棟：16,000㎡
〇解体:40施設65棟：31,870㎡

〇総床面積：　109,100㎡
〇処分床面積：　51,670㎡(△47.4%)
〇新設床面積：　18,200㎡
〇実質削減床面積：33,470㎡(△30.7%)

〇売却:3施設(グラウンド)　49,434㎡
〇廃止:1施設1棟(香花温泉)　488㎡

＜町管理(売却前)＞



＜民間企業管理(売却後)＞



＜旧旭総合支所＞



＜旧美咲町役場＞







処分施設一覧

＜令和６年度～７年度処分施設＞

NO	地域	事業	施設名		面積	活用方針（案）
1	中央	美咲町多世代交流拠点“みさキラリ”	美咲町役場	本庁舎	2,242	解体後、①加美地区コミュニティセンター整備②分譲地整備③医療機関へ売却④亀甲駅前駐車場
2				教育委員会庁舎	401	
3				消防機具庫	74	
4				倉庫	308	
5				公用車車庫	140	
6				第一分庁舎	296	民間企業へ売却
7				第二分庁舎	910	解体後、分譲地等整備（2030年以降）
8			美咲町地域活性化センター		209	解体後、道路及び隣接所有者へ売却
9			ふれあい亀太郎ロビー		106	解体後、駅前駐輪場整備
10			中央保健センター		699	解体後、新庁舎用地
11			物産センター		331	解体後、新庁舎用地
12			武道館		643	解体後、消防機庫・公用車車庫用地
13			美咲町立中央公民館	公民館	731	社会福祉法人へ売却
14				図書館		
15				便所・倉庫		
16			厚生小学校体育館		369	
17			わかくさ保育園		401	
18			農産物加工処理委施設		245	解体後、土地は所有者へ返却
19		その他	三保ライスセンター（３棟）		1,097	農事組合法人へ売却
20		公共施設集約化	三保公民館		522	三保ふれあいセンター新築後、解体。跡地は駐車場
21			ふれあい館		140	
22			ふれあい陶芸館		31	
23			西幸公民会館		298	加美南ふれあいセンター新築後、解体。跡地は駐車場
24			大垪和小学校	校舎	1,357	解体後、①地区グラウンド②災害時ヘリポート③キャンプ施設として民間企業等へ売却
25				調理場		
26				便所・倉庫		
27				体育館		
28				プール		
29			大垪和コミュニティスクール		639	
30			大垪和地域活性化センター		131	解体後、大垪和地区コミュニティセンター整備
31			大垪和老人憩いの家		181	
32			農家レストランやまっこ		62	
33			滝谷池休憩所便所（4棟）		102	解体後、公園の一部
34	旭	旭地域多世代交流拠点施設“あさひなた”	旭総合支所（３棟）		3,559	解体後、①民間企業への売却②分譲宅地・集合住宅用地③コンビニ・コインランドリー用地
35			旭文化会館		1,148	
36			旭町民センター		1,310	
37			旭保健センター		513	
38			旭児童館	児童館	368	解体後、分譲団地
39				増築棟	57	
40			西川診療所		1,261	解体後、ペット用墓地等
41			旧旭小学校渡り廊下		200	解体後、駐車場
42		公共施設集約化	大串老人共同作業場		36	解体後、土地は所有者へ返却
43			森年集会所		144	解体後、分譲地等整備
44			三休公園	さくら茶屋	94	解体後、イベント広場、観光資源として活用
45				さくら茶屋便所	36	
46				紙すき小屋	32	解体後、跡地町管理
47				染織小屋	58	
48				陶芸小屋	30	
49				炊事小屋	32	
50				便所	14	
51				木工小屋	65	
52			あさひが丘	プール	583	解体後、特別養護老人ホーム駐車場

NO	地域	事業	施設名		面積	活用方針（案）
53	栃原	義務教育学校栃原学園	栃原中学校	校舎	5,659	民間企業への売却
54				技術棟		
55				倉庫・配膳室		
56				体育館		
57				ランチルーム		
58				武道館		
59				プール	2,017	
60			栃原西小学校	校舎	3,620	解体後、跡地を民間企業等へ売却
61				ランチルーム		
62				クラブハウス		
63				プール	1,253	
64				体育館	848	民間企業等への売却
65			栃原学校給食共同調理場		300	解体後、跡地を民間企業等へ売却
66			栃原東小学校	校舎１	3,608	解体後、跡地を民間企業等へ売却
67				校舎２		
68				プール	976	
69				体育館	1,039	民間企業等への売却
70			栃原児童館		288	解体後、跡地は地元自治会管理グラウンド
71			星の子学習館		352	解体後、土地は所有者へ返却
72			栃原児童会館		598	解体後、土地は所有者へ返却
73			大戸国民体育館		857	民間企業等へ売却
74		公共施設集約化	飯岡老人憩いの家		781	解体後、飯岡地区コミュニティセンター新築
75			飯岡体育館		708	
76			飯岡地区民俗資料館		118	
77			飯岡コミュニティセンター		207	解体後、駐車場、分譲地等
78		その他	栃原クリーンセンター		652	解体後、町有地として管理
79			月の輪プラザ		2,670	民間企業等へ売却

※活用方針（案）は現時点での（案）である

売却施設

【解体工事】
2024(R6)年度
予算：20億円
財源：合併特例債

＜令和元年度～令和４年度までの処分施設＞

NO	地域	事業	施設名	面積	活用方針（案）
1	中央	公共施設除却	大垪和「友愛荘」	152	解体、大垪和地区コミュニティセンター整備
2			打穴プール	498	解体、NPO法人管理施設駐車場
3			旧大垪和小学校特別教室	431	解体、地区グラウンド他
4			ほほえみの湯		施設廃止 488㎡
5			児童公園便所	92	解体、児童公園
6			児童公園大型ローラー滑り台		解体、児童公園
7	栃原	公共施設除却	吉ヶ原ブロック住宅１	740	解体、民間企業等へ売却
8			吉ヶ原ブロック住宅２	489	解体、民間企業等へ売却
9			人口スキー場便所	54	解体、駐車場
10			藤原保育園	463	解体、民間企業等へ売却
11			飯岡幼稚園	246	解体、飯岡コミュニティセンター用地
12			飯岡幼稚園プール	107	解体、飯岡コミュニティセンター用地
13			飯岡小プール	571	解体、飯岡コミュニティセンター用地

＜令和3年度～令和5年度までの処分施設（グラウンド）＞

NO	地域	事業	施設名	面積	活用方針（案）
1	中央	公有財産売却	旧厚生小学校グラウンド	7,247	社会福祉法人へ売却
2	栃	公有財産売却	北部グラウンド	22,366	民間企業等へ売却
3	原	公有財産売却	塚角グラウンド	19,821	民間企業等へ売却

合意形成

～ 住民・議会～

合意形成における課題

①アイデンティティの喪失

施設は単なる建物ではなく、コミュニティのよりどころや歴史的シンボルであるため、廃止への抵抗感が強くある。

②受益と負担の不一致

全体最適（財政健全化）の必要性は理屈として分かっても、「自分の地域の施設がなくなる」という直接的な不利益に反発が集中する。

③サービスの低下への不安

統廃合や複合化によって、利便性が下がる（遠くなる）のではないかという不信や懸念が生じる。

④ないよりあったほうが良い

普段利用はしないが、「なんとなくあったほうが良い」というあいまいな感覚がある。

公共施設は、不特定多数の住民が利用しているイメージがあるが、実態は、特定少数の住民が繰り返し利用しているものが多い。多くの住民（利用していない）は、そもそも公共施設に興味関心がない。

課題への対応

①住民の参画
基本方針・基本計画策定の最初から、地域住民に参画してもらう。

②データの可視化
施設カルテを作成し、利用延人数、実人数、維持管理費、地域の将来人口等のデータを、隠さず住民へ提示

③代替案の提示
機能（サービス）の持続性を優先し、そのための手段として形態や場所、規模を柔軟に変更

④意見交換会の開催
行政からの一方的な説明会ではなく、小規模（少人数）での意見交換会を複数回開催
大規模（大人数）では、発言できない人が多く、一部の声だけが目立ち、行政の意図が伝わりにくい。

⑤小規模多機能自治の推進
他人ごとではなく、自分ごととして考え行動する住民を増やす

住民への対応

＜義務教育学校＞

・柵原地域義務教育学校整備検討委員会　2017(H29)　**10回**

・　　〃　　建設用地検討委員会　2019(R元)　**1回**

・　　〃　　開校準備委員会　2020(R2)～2023(R5)　**51回**

・旭地域義務教育学校開校準備委員会　2021(R3)～2023(R5)　**17回**





＜多世代交流拠点＞

・旭みらいデザイン検討委員会　2019(R元)～2021(R3)　**10回**

・美咲町みらいデザイン検討委員会　2020(R2)～2021(R3)　**12回**



＜義務教育学校説明会＞

・柵原地域　2019(R元)　**11回**

・旭地域　2020(R2)　**5回**





＜意見交換会＞

・　公共施設集約･処分他　2021(R3)～2026(R8)　**152回**



議会への対応

議会は、総論賛成・各論反対が最も顕著に現れる場所？

議会全員（14人）で構成

・義務教育学校特別委員会　2021（R3）～2024（R6）　**11回**

・多世代交流拠点特別委員会　2021（R3）～2025（R7）　**14回**

・議会全員協議会　2021（R3）～2026（R8）　**101回**

・定例議会　2021（R3）～2026（R8）　**20回**

・臨時議会　2022（R4）～2026（R8）　**19回**

などで、逐次事業説明し、理解を求めた。





賢く挑戦するまちづくり

～ これからの10年間～

挑戦する分野

2030(R12)年度まで

＜人づくり(人材育成)＞

1. 小規模多機能自治の推進
2. 男女共同参画の推進
3. 若者によるまちづくり(Wacca project)の 推進
4. 子本主義(こどもまんなかのまち)の推進
5. 子ども子育て支援の充実
6. 複合的課題を抱える家庭支援(重層的支援)の推進

＜定住促進(近者悦遠者来)＞

1. 産業団地整備
2. 企業誘致(高輪ゲートウエイLiSH連携)
3. 起業支援
4. 若者向け集合住宅整備
5. 若者向け分譲団地整備
6. 空き家の活用(サブリース)

＜公共施設マネジメント＞

「施設(ハコ)の維持」から「機能(サービス)の維持・最適化」へのマインドセットの完全な転換

【建築系】

1. 引き続き**25%床面積削減(15年間前倒し)**
2. 公共施設の集約・複合化
3. 公共施設の処分(売却・解体)

【生活インフラ】

1. 道路・橋梁の管理縮減(自治会移管・集約・撤去・機能縮小)
2. 下水道の管理縮減(集約・撤去・合併処理浄化槽へ転換)
3. 上水道の維持管理継続(料金値上げ)
4. 光ケーブル・CATV民間譲渡











ご清聴ありがとうございました。









